

翼

つばき

住みよい 安全・安心なまちづくり

町長 佐藤 晴彦



▲町道1-22号線(スクールライン)

地方公共団体支援策 1億7千2百万円

また、地方公共団体支援策として交付された分の使途につきましては、子ども達へのより安全・安心を担保する為の施策を優先させていただき、横芝中学校前を通る町道1-1号線(大総新道)の歩道整備、光中学校前を通る町道1-22号線(スクールライン)の道路改良工事、教育施設安全対策事業へ充てさせていただきます。その他としては、防災対策事業や町立東陽病院への運営支援、地域活動支援センター「たんぽぽ」改修工事などが主なものです。

経済危機対策臨時交付金 2億6千8百万円

次に国の平成21年度補正予算につきましては、5月29日に成立し地域活性化・経済危機対策臨時交付金として、「地球温暖化対策」少子高齢化社会への対応「安全・安心の実現」その他将来に向けた地域の実情に応じる事業」に充てることとされ、当町への交付額は2億6千8百万円程度の額と試算しています。

この臨時交付金は、前述の平成20年度第2次補正予算と同様、使途や執行期間に条件が課されるものと予想されることから、新町建設計画や中長期計画の事業に充てる場合は、十分な調査検討が必要と考えています。

いずれにいたしましても、現在この交付金を活用し実施すべき事業を検討しておりますが、財政的に厳しい地方にとつては大変ありがたいことでありますので、この交付金を効果的に活用し、横芝光町の更なる発展と住みよいより安全・安心なまちづくりに私をはじめ役場職員が一丸となって邁進してまいりますので、町民の皆さんの更なるご理解とご協力をお願い申し上げます。

100年に一度と言われている世界的経済危機の下、政府はこれまでにない超大型補正予算を組むなど、この危機を克服しようとしています。そこで今回は、その予算が当町の財政にどのように組み込まれ、住民の皆様にとの関わり合いを与えていくのかをお伝えしたいと思います。

定額給付金

まず、平成21年3月の家計緊急支援対策や地方公共団体支援策を盛り込んだ平成20年度第2次補正予算(地域活性化・生活対策臨時交付金)での当町への交付金は、国民の生活を支



▲定額給付金は91%に支給済み(5月末日現在)

援する目的で住民に給付される約4億円の生活対策支援定額給付金のほか、厳しい経済状況の中で、多子世帯の子育て負担

を軽減することを目的とした子育て応援特別手当の1千5百万円、市町村への支援策として約1億7千2百万円が交付され、3月町議会において、これらの補正予算案が可決承認されたところであります。

定額給付金につきましては、5月末日現在、既に世帯数で8,262世帯、金額にして約3億6千万円、町全体では91%に当たる町民の皆さんに支給させていただいています。

また、子育て応援特別手当につきましては、対象児童に一人当たり36,000円を支給するものであり対象世帯の94%が支給済みになっています。



▶東陽病院